

1級

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ふ	いた	つま	おさ	ふせ	つつし	そし	さわ	さらい	あわただ	あほう	ふこう	けんけん	そそ	くだ	しゅうげつ	ふったく	はさい	たくれつ	ほうろう	かんく	はいがい	ちんてん	しんき	げき	たつじょう	てんさん	そうあい	できとう	うんしゃ

(一) 読み (30)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
籛	袴	搗・舂	憑	曠職	行色	隠約	虚器	葛葛	陽伴狂	奉奠	咀嚼	赫奕	消光	絢爛	不行跡	三隣亡 三輪宝	射竦	花綵	捻込

(二) 書き取り (40)

5	4	3	2	1
かい	べ	が	ち	け
い	き	ん	ょう	い
ん	ろ	あい	りょう	けい

問2 意味と読み (2x5)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
搔癢	垂髻	倚伏	補処	窮理	桑弧	含哺	跂狗	撥雲	狼子

問1 書き取り (2x10)

5	4	3	2	1
歌吹海	婆娑羅	蒙塵	交詢	磊塊

(三) 語選択書き取り (10)

オ	エ	ウ	イ	ア					
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
か	た	ち	き	の	ち	さ	ぎ		と
わ	せ	ぬ	ん	ぼ	く	さ	よ	う	ち

(六) 熟語の読み (1x10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
アスファルト	いいだこ	ふじうつぎ	かみきりむし	すずむし	はなずおう	カラコルム	このり	ていたらく	みずは

(五) 熟字訓・当て字 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
大旱	蒟蒻	蓼虫	華胥	肉袒	時夜	十駕	椒・薑	朝	燃犀

(八) 故事・諺 (2x10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
華寿	投笏	郢斧	旌表	頃刻	毫末	四夷	祖妣	羸余	芻菽

(七) 対義語・類義語 (20)

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
そう	ゆう	か	あ	だ	し	せ	た	ひ	し
し	う	べ	ん	い	き	つ	て	ざ	じ

読み (1x10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
蹒跚	疇昔	焦熱	恙	頭顱	大刹	靡	仕丁	轆	檳榔毛

書き取り (2x10)

(九) 文章題 (30)

準1級

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
た	も	お	と	ほ	ぬ	や	い	た	ま	じ	そ	し	え	し	じ	し	ば	か	じ	せ	し	も	う	か	す	ち	せ	ふ	し
い	ぎ	お	が	こ			わ	ね	さ	ゆ	ん	よ	ん	ゃ	よ	い	い	さ	ゆう	い	ゅう	え	り	ほ	い	ん	ん	ん	い

(一) 読み (30) 1×30

5	4	3	2	1
違	当	知	容	口

(四) 共通の漢字 (10) 2×5

オ	エ	ウ	イ	ア					
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
そ	せ	も	い	は	め	ず	た	ひ	一熟
む	ん	と	れ	ん	で	い	し	つ	字訓
	ち		い	そ	た	し	ょう	き	の
				く	た	ょう		ょう	読み

(三) 一熟字訓の読み (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
に	と	な	か	は	す	ほ	ば	ち	ひ
わ	ぼ	り	た	じ	さ	ど	ら	か	と
	そ		け	じ				え	え

(二) 表外の読み (10) 1×10

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
師	獅	莪	凋	穿	業	柳	繫	短	蝶	面	儲	欣	恩	楯	寄	凱	垢	逼	悶
資	子	莪	落		曝	眉	縛	兵	番	舵		幸	寵	円	寓	旋	拔	迫	々

(五) 書き取り (40) 2×20

5	4	3	2	1
し	じ	て	が	ぼ
ん	ゃ	ん	ん	だ
し	く	よう	い	い

問2 意味と読み (2×5)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
蒼	事	鳳	燕	姑	鱗	邑	満	稻	蚊
然	大	雛	石	息	次	犬	腔	麻	虻

(七) 四字熟語 問1 書き取り (30) 2×10

5	4	3	2	1
醇	軒	態	概	頭
馴	懸	殆	該	倒

(六) 誤字訂正 (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
採	喪	梅	嬰	卑	伯	轍	胡	御	菱
薪	家	檀	兒	下	楽	鮒	馬	簾	蔓

(九) 故事・諺 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
秋	叩	啓	顛	要	瞥	陳	厭	些	騷
波	頭	蒙	末	諦	見	套	世	(瑣)末	擾

(八) 対義語・類義語 (20) 2×10

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
か	い	し	あ	こ	や	て	え	かん	いた
ね	い	ら	ま	し	と	い	ら	れん	た
	い		ね	き		よ		ん	ず
	よ								ら

読み (1×10)

5	4	3	2	1
纏	手	布	無	強
	筭	袋	頓	韌
		腹	着	

(十) 文章題 書き取り (20) 2×5

2級 (G)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ち	かがみもち	お	ふ	き	さ	か	た	ひじまくら	いさぎよ	いんせき	いくびよう	おうへい	びしゅう	もうじゃ	ぞうけい	きようしゅう	てきぎ	い	せい	ひけん	み	はい	こうかく	せい	はい	しつぺい	きようほん	けんじ	せんさい

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	エ	ア	ウ	ア	オ	イ	エ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
子	才	一	宀	艸	戸	小	羊	禾	戈

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
ウ	エ	ク	ケ	オ	意味	誇	雄	堆	離	懇	北	堅	暮	勉	外	書き取り
						大	心	金	合	切	斗	固	改	励	患	

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
掘	彫	公序	控除	傘下	惨禍	天井	添乗	皆勤	開襟

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
由緒	仲裁	同僚	采配	不偏	虚構	享楽	緻密	哀悼	左遷

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

(九) 書き取り (50) 2×25

5	4	3	2	1
一旦	早暁	溪流	真偽	会釈

(下へつづく)

(ハ) 漢字と送りがな (10) 2×5

5	4	3	2	1
麗しく	狙う	殴っ	掲げる	虐げ

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

5	4	3	2	1	
載	兼	操	旧	煩	誤
栽	懸	搜	朽	繁	正

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
唾	畳	逸	釣	過	著	汚	暴	疎	水際	触	鈴	渴望	帰依	絞首	懐柔	炎症	広狭	刹那	急須

準2級 (G)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
た	あ	す	つ	く	な	も	ま	た	は	た	し	じ	あ	し	せ	ら	ゆ	ぜ	そ	ふ	か	い	こ	ど	て	へ	き	き	ぼ
だ	ま		か	ちは	わ	ど	ど	ま	な	か	し	よ	ん	っ	つ	い	う	ん	う	ん	め	り	ほう	い	い	よう	よ	う	せ
				は	ば		わ	わ	お		こう		き		つ	ひん	わ	しん	ゆう	さい	い	じょう	ん	しゅ	こう	さ	さ	せ	

1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	ウ	イ	エ	ウ	イ	ウ	オ	ア

(三) 熟語の構成 (20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
糸	隶	卢	衣	二	戈	竜	儿	舟	口

(二) 部首 (10)

1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2
イ	キ	ウ	ク	ケ	意味

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
勸	依	枯	壮	沈	扇	錯	飛	発	万	書き取り

(四) 四字熟語 (30)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
疲	捕	渡	途	載	彩	診	紳	妥	駄

(六) 同音・同訓異字 (20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
失	計	欠	解	午	懐	販	汚	栽	凡
敬	略	陥	任	睡	柔	売	濁	培	人

(五) 対義語・類義語 (20)

2×10

5	4	3	2	1	(九) 書き取り (50)
拘	花	徹	孤	鉄	
束	壇	夜	島	塔	

2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1	(八) 漢字と送りがな (10)
滞	隠	蓄	含	渋	
り	れ	える	ま	い	

2×5

5	4	3	2	1	(七) 誤字訂正 (10)
操	知	対	被	飼	誤
搜	治	退	披	買	正

2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
紛	抜	嫌	隅	慕	杉	軒	挑	陰	銃	悲	妄	凝	探	微	婚	褐	真	循	媒
						並		口	弾	恋	想	固	偵	力	約	色	珠	環	介

3級 (G)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
え	か	い	た		ほ		お	さ		が	か	こ	た	せ	い	と	ほ	ほ	こ	ほ	き	よ	ぼ	か	ち	し	し	け	み
が	た	ち	た	か	ば	む	ろ	そ	ゆ	ろ	ん	ふ	い	い	き	く	う	ん	く	う	き	く	う	く	く	よ	う	ん	り
お	こ	じ	ぐ		し					う	と	ん	ほ	き	き	め	め	ふ	せ	や	よ	し	く	よ	め	う	え	よ	

1×30 (30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
工	ア	ウ	工	ウ	オ	オ	ア	イ	ア	オ	工	工	イ	ウ
踏	伏	振	吐	塗	渡	芳	奉	封	鎮	沈	陳	魂	紺	恨

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
オ	キ	ク	ア	カ
辱	慕	掃	滑	擁

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	工	オ	ア	ウ	ア	ウ	ア	イ	工

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	工	ウ	工	工	ウ	イ	ウ	イ	ア
之	馬	巾	サ	疔	鳥	心	羊	爰	日

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
廉	群	算	達	困	敏	重	虚	費	接

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
商	逃	賢	設	擦
っ	れる	い	け	れる

(七) 漢字と送りがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
棒	風	無	邪	鬼	公	山	器	一	面
大	月	量	説	没	私	紫	用	刀	目

(八) 四字熟語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
居	回	慢	構	近	誤
扱	解	満	講	緊	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
炎	眠	授	粗	炊	酔	辛	指	順	硬	冷	念	知	虐	信	掲	平	微	抽	伴
						口	輪	延	直	房	願	恵	待	頼	載	穩	力	出	奏

(十) 書き取り (40) 2×20

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
し	ぬ	は	で	おも	か	し	あと	つ	か	ろう	し	ゆ	かん	つ	し	ご	ど	ぜん	か	ぎ	そ	やく	し	ど	て	し	ど	し	こ
ば	す	こ	は	む	く	ず	か	か	え	き	は	う	き	う	く	て	う	せい	び	よ	く	し	ん	ん	き	し	う	し	う
ふ		づ	ら	き			た	か	り	ゆう	ん	が	よう	れ	はい	ん	わ	い	ん	かく	とう	よく	かん	は	ち	こう	く	ま	ん

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
才	工	イ	工	ウ	才	ア	イ	ウ	ア	才	工	工	ウ	ア
枯	駆	欠	祈	奇	机	忙	坊	傍	鋭	影	営	渡	吐	途

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
力	才	ケ	コ	工
闘	望	劣	襲	堅

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	工	イ	ウ	イ	才	工	ア	工	ア
舟	文	戸	四	女	見	雨	片	口	舛

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	工	ア	工	イ	ア	イ	ア	イ	ウ
舟	文	戸	四	女	見	雨	片	口	舛

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
富	縁	根	頭	久	相	暴	離	略	悲

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
含	抱	易	閉	従
め	く	しい	ざし	える

(七) 漢字と送りかな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
品	剣	秋	災	異	断	器	倒	覧	金

(八) 四字熟語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
志	真	張	最	精	誤
指	深	調	細	整	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
峠	握	恥	被	霧	幅	垂	本	警	宿	選	結	独	洗	増	苦	鮮	冬	格	往
							音	報	泊	抜	婚	占	面	殖	悩	魚	眠	段	復

(十) 書き取り (40) 2×20

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ふ	い よ く	しん ぞう	う や ま	み つ せ つ	ほう そう	さ が	さん ぱい	あ や ま	せ お よ	こう てつ	し た が	かい が てん	す	か し	こく も つ	ふ ん き	も	し ょう らい	そ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
16	13	6	1	8	3	7	5	12	7

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	こ	キ	お	カ	く	ア	え	コ	か

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ウ	ア	エ	ウ	エ	ア	イ	ア

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
預 かる	幼 い	割 れる	刻 む	並 べる

(四) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
激	誠	賃	異	担	派	縦	亡	片	縮

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
策	腹	鳥	巖	層	宇	射	訪	疑	就

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
視	誌	映	移	標	俵	憲	件	貯	著

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	エ	ア	ウ	ア	ウ	エ	イ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
ケ	キ	ク	オ	ウ
ア	コ	イ	エ	カ

(八) 熟語作り記号 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
棒	姿	遺 産	区 域	星 座	補	簡 潔	針	警 備	乱	温 暖	潮	骨 身	劇	染	演 奏	資 源	供	絹 糸	砂

(十一) 漢字 (40) 2×20







20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
わ	さん	か	とう	も	つ	ね	ふく	き	に	し	もく	え	た	さ		く	とう	は	う
ら	お	た	だい	と	た	が	お	ん	っ	ろ	ひ	い	よ	い	か	わ	ひ	ん	め
	え						け	か	か		よう	ご		ご			よう	け	

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	イ	ア	イ	ウ

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
め	は	は	た	あ	か	つ	ど	し	れ
	つ	か	い	ら	い	と	り	ず	い
	が		り	た	よう		よ	せ	

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
然	底	無	戦	敗

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	イ	ア	ア	イ	イ	ア	イ	

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
12	15	9	19	7	4	2	5	10	9

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ			イ			ア			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
栄	果	未	東	達	連	辺	浴	清	泣

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
結	満	好	挙	試	低	省
ぶ	た	む	げ	み	い	く
	す		る	る		

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	才	イ	ウ	ア	エ	才	ア	エ	イ

(十) 同じく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
機	器	刷	察	唱	照	参	産

(九) 同じ読み漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
浅	漁	陸	臣	輪	節	以	置	必	徒	働	覚	変	卒	兆	材	借	典	群	昨

(十一) 漢字 (40) 2×20

(一) つぎの線の漢字の読みがなを  
線の右に書きなさい。

30  
1X30

- ひな祭りの人形を和室にかざる。
- 近くの林でうぐいすが鳴き始めた。
- 白地図に学校の記号を書きこむ。
- 二年生で九九を勉強した。
- 学級文庫に童話の本が三つ入る。
- 橋の上から深い谷をのぞく。
- 帰りがおそくなった理由を話す。
- 魚つりの道具をそろえる。
- リレーのバトンを右手で受け取る。
- ぬる前に部屋の電気を消す。
- 森にいる生き物について研究する。
- つくえの横に本だなをおく。
- 黒い雲が広がり、あたりが暗くなる。
- 店のレジで代金をはらう。
- 雪山が朝日をあびて銀いろに光る。
- 定員百名の会場がいっぱいになる。
- 先生の笛の合図で走りだす。
- 苦手な教科をなくすよう努力する。
- 春には小川の岸にたんぼがさく。
- 通学路のどちらかに公園がある。

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに  
書きますか。○の中に数字を書きなさい。

有	研	委	乗	球
①	⑤	②	⑦	⑤
⑨	⑦	⑩	⑪	⑧

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいの  
いみのことばにしなさい。

120  
2X10

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

120  
2X10

一部 — (全)部  
教える — (習)う  
勝つ — (負)ける  
重い — (軽)い  
心配 — (安)心

こぎとへん …… 太陽・入院  
ち(力)から …… 助かる・動物  
しよくへん (食) …… 旅館・飲み水  
うかんむり (宀) …… 乗客・お守り  
しんにょう (辶) …… 遊ぶ・時速

うらへつづく

(五) つぎの (一) (二)の中に漢字を書きなさい。

200  
2X10

道路をわたるときは車に(注)意する。  
電(柱)のかけが長くてびびっている。  
音楽隊を先頭に大通りを行(進)する。  
兄はクラスで(身)長がいちばん高い。  
ひこうきに(乗)って九(州)へ行く。  
(集)合時間の十分前に駅に着いた。  
業(局)で子ども用のマスクを買う。  
ベートーベンには有名な作(曲)家だ。  
切りきずの出(血)が止まった。  
科学者になろうと(決)意する。

(六) つぎの線のカタカナを○の中の漢字を  
おくりがな(ひらがな)で□の中に書きな  
さい。

1 (流) ナガレル あせをタオルでふく。  
2 (平) やき魚をヒラタイ皿にのせる。  
3 (重) 新聞をたたんでカサネル。  
4 (急) 電車に間に合うように駅へイソグ。  
5 (起) 目ざまし時計の音でオキル。

起きる  
急ぐ  
重なる  
平たい  
流れる

(七) つぎの線の漢字の読みがなを  
線の右に書きなさい。

110  
1X10

去年から水泳教室に通っている。  
夕ぐれのしずかな湖を白鳥が泳ぐ。  
屋上にテレビのアンテナを立てる。  
屋根につもった雪を下ろす。  
幸運にも遠足の日はよく晴れた。  
年のはじめに家族の幸せをいのる。  
初夏の草取りは短時間で終わった。  
冬は夏にくらべて日が短い。  
かさを反対の手に持ちかえる。  
体をゆっくり後ろに反らす。

(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。

1 むずかしい言(葉)の意味を  
辞書で(調)べる。  
2 町の昔の(写)真を見ながら  
当時のくらしについて考えた。

3 タコはんを食べてから、算数の  
(宿)題をした。  
4 今朝はとも(寒)くて、指先が  
水のようにつめたい。  
5 なかのよい友だちが(転)校して  
悲しかった。  
6 日なたと日かげの地(面)の  
(温)度をくらべる。  
7 (坂)道を上っていくと、  
赤いとりが見えた。  
8 たなの商(品)を店の人が  
整理している。  
9 (世)界で活やくてきる  
サッカー選手を目指す。  
10 毎年、校(庭)のさくらの木に  
美しい花がさく。

おわり

○この答えを見て、書けなかったところは  
どこか、まちがったところはどこか、  
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、  
そのままにしないで、すぐに練習をして  
正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

(一) つぎの文をよんで、— さんの漢字の(22)1X22  
よみがなを— さんの右にかきなさい。

- 1 冬の夜空に多くの星がかがやいている。
- 2 遠足で林の中を歩いた。
- 3 今日、母のふる里からおばあさんが来る。
- 4 図工の時間に、画用紙においの顔を大きくかいておめんを作った。
- 5 算数のテストでまちがえたところをお姉さんに教えてもらった。
- 6 家ぞくて海べの町に行った。みなどの近くの店では新せんな魚を売っていた。

谷 線 形 走 曜

3 12 4 5 8

寺 電 黄 鳴 北

6 13 11 14 5

(二) つぎの漢字のふたひらがなはなんぼに(10)1X10  
かきますか。○の中はひらがなをかきなさい。

(三) □にひらがなを一字かいて、つぎの(8)1X8  
ことはのよみをこたえなさい。

色紙 …… いろがみ

白米 …… はくまい

市場 …… いちば

草原 …… そうげん

正方形 …… せいほうけい

(四) ○のころは、はなるか、とめるか、(4)1X4  
正しいかかたて○の中にかきなさい。

汽船 …… 海外

高いビル …… 弓と矢

(五) つぎの文をよんで、— さんの漢字の(10)1X10  
よみがなを— さんの右にかきなさい。

- 家ぞくて山のぼりをした。
- 家の中でゲームをしてあそぶ。
- おうだん歩道をわたる。
- 道ばたに白い花がさいていた。
- へやのまどから日光がさしこむ。
- 川の水がきらきら光る。
- 午後一時に、しあいが始まる。
- れつその後ろにらんだ。
- りよこのうの計画を立てる。
- 時間を計ってうどんをゆでる。

— うらへつづく —

(六) つぎの漢字のひらがなを漢字で(6)1X6  
はくどど、どちらが正しいですか。正しい  
ほうのほんごうに○をつけなさい。

土ち 1 土地 2 土池

手なまし 1 手直し 2 手首し

にゅう会 1 人会 2 入会

町かど 1 町角 2 町用

体りよく 1 体力 2 体刀

したしい 1 新しい 2 親しい

(七) れいのようにおなじなまの漢字を(20)2X10  
□の中にかきなさい。

音読 ・ 日本語

南の国 ・ 公園

一週間 ・ 通る

秋の虫 ・ 生活科

東京 ・ 交番

(八) つぎの□の中に漢字をかきなさい。(20)2X10

白…黒 くもり…晴れ

妹…弟 細い…太い

東…西 くらい…明るい

夜…昼 おす…引く

牛…馬 すすむ…止まる

(九) つぎの文をよんで、□の中に漢字を(50)2X25  
かきなさい。

りんごを切って、にわのえさ台においておく

グループで話し合いをしたとき、自分の考えをみんなにつたえた。

鳥が食べに来た。

3 音楽室から、校歌を歌う声が聞こえる。

強い風がふいて

ぼうしがとばされた。

毎日、心にのこったことや思ったことを日記に書く。

お父さんに、デパートでかさど長ぐつを買ってもらった。

朝、学校の門の前で、となりの組の友達に会った。

— おわり —

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

漢検

2024年度  
第3回 日本漢字能力検定

ほんかんじのうりよくけんてい  
標準解答(こたえ)

検定日 2025年2月16日  
ひょうじゆんかいとう  
標準解答(こたえ)  
(公益) 日本漢字能力検定協会

1 つぎのぶんをよんで、— せんのかん字のよみがなを— せんのみきにかきなさい。  
(40) 2x20

1 ここのきょうかしよの

文しようをこえに出して

二かいよんだ。

2 のはらで 見つけた 花の

名まえをしらべる。

3 タがた、にしの空が

赤くそまっていた。

4 バスの中でお年よりに

せきをゆずった。

5 あめ玉を一つ口に

入れる。

学 気 年 空 火 千  
6 4 1 4 3 2

出 音 校 貝 先 町  
5 9 10 7 6 7

2 つぎのかん字のふいところはなんばんめにかきますか。○のなかにすう字をかきなさい。

さんぼした。

つれてちかくの林を

7 天気がよいので、犬を

手ぶくろをあんでもらう。

6 おかあさんに 青いけ糸で

3 つぎのぶんをよんで、— せんのかん字のよみがなを— せんのみきにかきなさい。  
(16) 2x8

音がくにあわせてうたう。

ドアのしまる音がきこえた。

花だんのざつ草をぬく。

草ぶえのふきかたをおそわる。

おつりを五円もらった。

へやに円いテーブルをおく。

木よう日にピアノをならう。

にわの木にとりがとまる。

—うらへつづく—

4 つぎのことばのよみがなをただしいほうのばんごうに○をつけなさい。  
(16) 2x8

1 王女

2 先生

3 十月

4 五日

5 大小

6 ひらがなを一字かいてつぎのことばのよみをこたえなさい。  
(12) 2x6  
（れい）ふじ山……ふじさん

カもち……ちからもち

六年……ろくねん

学ぶ……まなぶ

名人……めいじん

水中……すいちゆう

6 つぎの□のなにかん字をかきなさい。  
(20) 2x10

1 耳…目

2 木…竹

3 千…百

4 じん…金

5 はれ…雨

7 つぎのぶんをよんで、□のなかにかん字をかきなさい。  
(40) 2x20

1 右と左をたしかめて

2 七さいのたん生日に

3 いすにすわって

しせいで本をよむ。

4 ゆきがたくさんふって

7 村のひろい田んぼが

まっ白になった。

5 ひる休みに校でいて

11 男の子が八人、

6 森の土の中や

おちばの下で、ふゆを

こす虫がいる。

7 えん足のとき、山の

上でおにぎりを

—おわり—

10級 G

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

(不許複製)